

(別紙5)

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 26-2-001

補助事業名 平成26年度 こどもが幸せに暮らせる社会を作る活動補助事業

補助事業者名 特定非営利活動法人パラリンピックキャラバン

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

こども達が障がい者アスリートと出会い、対話し、共にスポーツをすることで挑戦するこのとの素晴らしさを実感しつつ、自分を含めた誰もが大切な社会に一員であることを認識し、一人ひとりが生き生きと暮らせる次世代を展望して行動していくように支援することを目的とします。

(2) 実施内容

障がい者アスリートによる学校訪問事業

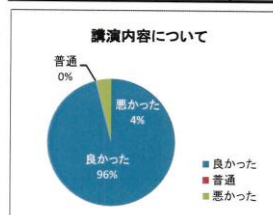
(URL) http://www014.upp.so-net.ne.jp/paracan/paracan/yu_ding_ji_lu.html

1) 趣旨説明、2) 講師紹介、3) 競技紹介、4) デモンストレーション、5) 用具説明、6) こども達の体験、7) 小グループでの質疑応答、8) まとめのお話、をワークショップ形式で行いました。

障がい者アスリートからチャレンジ精神やの素晴らしさや大切さを学び誰もが大切な社会の一員であることを確認しました。誰とでも友達になれ、何歳からでも、たとえ障がいを負ったとしても、新しいことにチャレンジして生き生きと生活出来ることを実感できます。

2. 講演内容について

良かった	96%	普通	0%	悪かった	4%
------	-----	----	----	------	----



- ・生徒に何を伝えているのかよく分かったから。
- ・子どもたちにも分かりやすくパラリンピックキャラバンの意味を伝えてもらい、これからの生き方を前向きにとらえることが出来るものだった。
- ・子ども達にも分かりやすい言葉で説明していただけたので、しっかり理解することができました。言葉だけでなく、実際に見て学ぶことも多く、より自分の物にすることができました。(言葉での理解が苦手な子も多いので、有難かったです)
- ・選手のみで行う迫力あるプレーが見たかったです。
- ・生徒が夢中になり、よい体験ができました。
- ・生徒の感想文を読んでも多くの発見があったことがたくさん書かれていた。



2 予想される事業実施効果

- ・こどもが幸せに暮らせる社会を創る活動の促進として、障がい者スポーツを学校教育のプログラムとしての導入
- ・パラリンピックに向けた選手育成と障がい者への理解促進と活躍・雇用の場の拡大

(別紙5)

- ・日本社会におけるダイバーシティインテグレーションの実現への助力
- ・障がい者スポーツの普及啓発

3 本事業に係る成果物

- (1) 補助事業により作成したもの
横断幕・報告書

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： NPO法人パラリンピックキャラバン
(エヌピーオーホウジンパラリンピックキャラバン)

住 所： 〒277-0082
千葉県柏市緑ヶ丘8-1-10

代 表 者： 理事 江藤 秀信 (エトウ ヒデノブ)

担 当 部 署： 事務局 (ジムキョク)

担 当 者 名： 事務局長 中山 薫子 (ナカヤマ カオル)

電 話 番 号： 04-7169-6423

F A X： 04-7160-0969

E - m a i l： info@para-can.com

U R L： <http://www014.upp.so-net.ne.jp/paracan/paracan/top.html>